

～「かながわの女性と男性のデータブック」でこんなことが分かります 1～

女性の就労状況や労働力率のM字カーブ等に関する統計データを掲載しています。
 (「労働」「人口と世帯」等の異なる分野の統計データが1冊にまとまっています。)

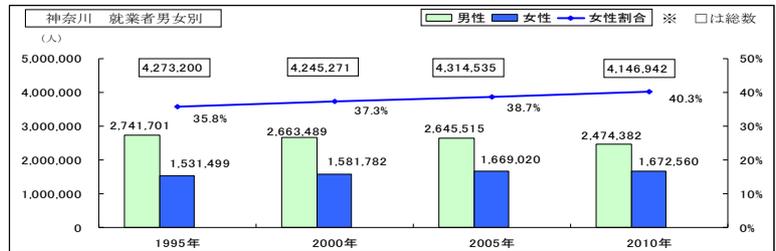
? 働く女性は増えているの?

ヒント

神奈川県の実業・サービス業の就業者 p 30, 31

※□のp30は「かながわの女性と男性のデータブック」掲載ページ。以下同じ

2010年、神奈川県の実業・サービス業の就業者は414万6942人で、2005年と比較すると16万7593人減少しています。



[国勢調査]より作成

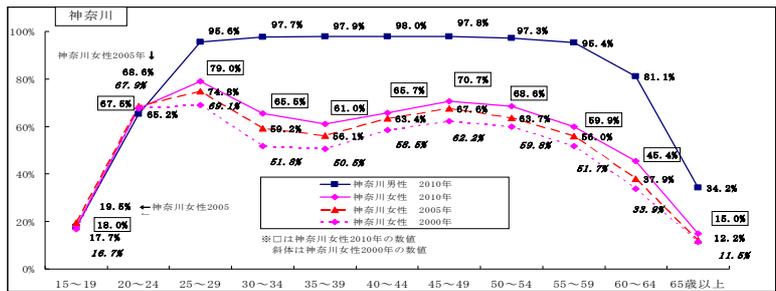
? 女性の労働力率の特徴は?

ヒント

神奈川県の実業・サービス業の女性の労働力率 p 28, 29

神奈川県の実業・サービス業の女性の労働力率は、最も高い年代の20歳代後半が79.0%、30歳代になると出産や子育てなどで離職があり、30歳代後半には61.0%まで低下し、子育てなどが一段落した40歳代後半

(70.7%)が2番目に高くなり、その後また低くなるため、グラフの形はM字となります。2010年と2005年の女性の労働力率を比較すると20歳代前半を除く各年代で上昇しています。しかしながら男性の労働力率より、20歳代後半以降は低下しています。



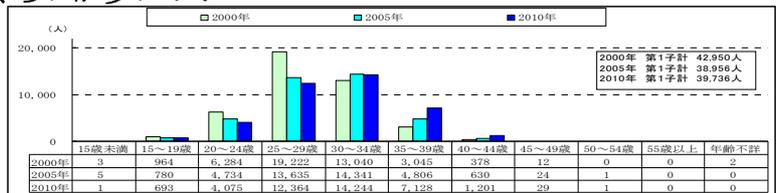
[国勢調査]より作成

? 出産や子育て期の女性は何歳くらいが多いの?

ヒント

第1子出生時の母の年齢 p 6, 7

2010年、最も多い年代は30歳代前半14,244人で、全体の35.8%です。



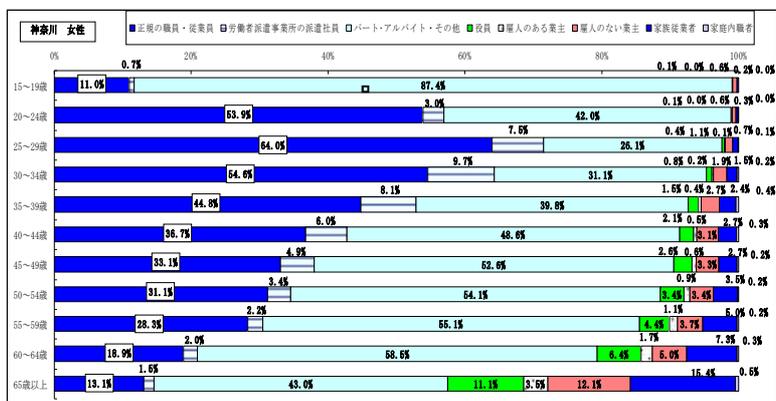
[神奈川県衛生統計年報]より作成

? 女性の労働力率の高い20歳代後半と40歳代後半で、それぞれ正社員割合は?

ヒント

就労者の就業上の地位 p 28, 29

2010年、女性の「正規の職員・従業員」の割合は20歳代後半の64.0%が最も高く、労働力率のM字カーブの2番目のピークにあたる40歳代後半は33.1%です。40歳代後半で最も多いものは「パート・アルバイト・その他」52.6%となっています。



[国勢調査]より作成



他にも次のような統計データを掲載：従業員男女構成比、一般労働者の男女間賃金格差、有業者平日仕事時間、保育所の施設数・在籍者数、平均初婚年齢、未婚率 等